

2021 年度事業報告書

1 事業実施状況

2021 年度（2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで）における事業実施状況は以下のとおりです。

設立 5 年目となる 2021 年度からは、2021 年 11 月に策定した「いこま市民パワー中長期計画 2021」に基づき、まちづくり会社への転換に向け様々な取り組みを実施してきました。

2 月には、新たな株主としてバイオマス発電事業を手掛ける TJ グループホールディングス株式会社が参画されたことにより、将来に向けて、地産の再生可能エネルギー源の獲得及びエネルギーの地産地消を、より確実に実現できる体制となっています。

(1) 電力事業

2021 年度は、公共施設、民間事業者及び一般家庭への供給拡大とともに、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）に基づく買取期間を満了する一般家庭の卒 FIT 電気の買取を 9 月から開始し、生駒市民や当社との電気契約者にプレミアム価格を設定すること等により効果的な買取募集に努めました。

また、11 月には、一般社団法人市民エネルギー生駒（以下「CEI」という。）が運転開始した市民共同太陽光発電所 5 号機からの電力調達を開始しました。CEI との連携による PPA 事業スキーム（第三者所有モデル）で実現した太陽光発電事業であり、今後のさらなる事業展開が期待されます。

ア 電力調達

2021 年度は、前年度に引き続き、生駒市の太陽光発電及び小水力発電のほか、CEI の太陽光発電、株式会社 グリーンパワー大東のバイオマス発電からの電力調達を継続するとともに、一般家庭からの卒 FIT 電気買取事業を開始しました。家庭からの申請件数は 94 件、その内 49 件の太陽光発電設備からの電力調達が始まっています。

調達電力の内訳はバイオマス発電から 2,027,480 k W h、太陽光発電から 621,594 k W h（うち家庭の卒 FIT 電気は 31,753kWh）、小水力発電から 341,678 k W h、バックアップ電力としてみんな電力から 26,704,020 k W h、合計 29,694,772 k W h となりました。

イ 電力供給

生駒市の公共施設向けでは、新たに7施設への供給を開始し、高圧施設47施設、低圧施設29施設、合計76施設に対して高圧26,238,214kWh、低圧608,143kWh、合計26,846,357kWhを供給しました。

民間事業者向けには、14施設への供給を新たに開始し、高圧施設8施設、低圧施設33施設、合計41施設に対して高圧999,999kWh、低圧527,174kWh、合計1,527,173kWhを供給しました。

また、一般家庭向けは46世帯に対して、182,689kWhを供給しました。

事業全体として、2021年度においては高圧施設55施設、低圧施設62施設、一般家庭46件、総供給量28,556,219kWh、売上は443,236千円となりました。

(2) コミュニティサービス事業

2021年度における電力小売り事業の収益を活用したコミュニティサービスについては、まちづくり会社としての役割を担うべく、既存事業の継続だけでなく、新規事業の展開にも取り組みました。

市内全小学校新入生に対する「登下校見守りサービス」について、新入生の無料期間を延長するサービス拡充を継続しました。

生駒市の「複合型コミュニティづくり」への充実支援につきましては、場づくりの設計支援やコミュニティ運営のノウハウ提供といった個別自治会への伴走支援を実施し、新たに1自治会における複合型コミュニティの立ち上げに結びました。

さらに、年度末には「エコタウンまちづくり応援補助金」の募集を開始しました。これは、自治会が取り組む地域の課題解決に向けた事業で、脱炭素、省エネ・節電、資源循環など地域住民の環境意識の醸成にも寄与する事業を応援するものです。

また、生活利便性向上やウィズコロナ時代の新たなライフスタイルへの適応、再配達による雇用時間や配送に伴うCO2の排出削減に寄与する取組として、新たに置き配ボックス購入支援サービスを開始しました。

生駒市との共催で実施したスタイリングウィークにおけるワークショップ「エシカル消費ことはじめ」では、市内在住の当社顧客の実例も交えながら、SDGsにつながるエシカル消費の実践方法の一つとして、当社の電気を紹介し、市民の行動変容を促したほか、参加者から当社への要望・期待なども吸い上げ、今後のコミュニティサービスの展開に反映することとしました。

このほか、生駒市が主催する、いこまSDGs環境フェスティバルでは、CEIと共

同により、エネルギーに関する展示・相談を実施し、参加者への意識啓発、取組周知を行いました。

顧客をはじめとした市民対象のワークショップについては、開催を予定していたものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止することとなりました。

また、これまでの取組が内外から高く評価され、雑誌「Discover Japan」をはじめ、様々なメディアで事例が掲載され、情報の発信に繋がりました。引き続き、生駒市のまちづくり施策と密接に連携した市民サービスとして、新たな事例の創出と内外への発信に取り組んでまいります。

2 会社の概要（2022年3月31日現在）

- (1) 名称：いこま市民パワー株式会社
- (2) 設立形態：株式会社
- (3) 設立年月日：2017年7月18日
- (4) 設立目的：電力小売事業

太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー電力等を活用した「電力小売事業」を生駒市内において展開することにより、エネルギーの地産地消、市域の活性化、市民生活の利便性の向上を図ることを目的とします。

- (5) 出資額等：出資総額 15,000 千円

【内訳】	生駒市	7,650 千円 (51%)
	生駒商工会議所	3,600 千円 (24%)
	TJ グループホールディングス株式会社	1,800 千円 (12%)
	一般社団法人市民エネルギー生駒	1,200 千円 (8%)
	株式会社南都銀行	750 千円 (5%)

- (6) 事務所の位置：生駒市谷田町 1615 番地

生駒市テレワーク&インキュベーションセンター内

- (7) 企業理念：～電力事業を切り口に低炭素で持続可能なまちづくりに貢献する～

- 【経済】電力小売事業による域内資金循環促進及び雇用創出
- 【社会】コミュニティサービスによる市民の生活利便性向上、地域課題解決及び市民活躍の場づくり
- 【環境】域内再生可能エネルギー電源の優先的調達と開発

- (8) 役職員：代表取締役 小紫 雅史（生駒市）

取締役 高桑 真樹（生駒商工会議所）

取締役 楠 正志（一般社団法人市民エネルギー生駒）

監査役 吉田 慎太郎（株式会社南都銀行）

職員 3名

決算報告書

(第 5 期)

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

いこま市民パワー株式会社

貸借対照表

いこま市民パワー株式会社
令和 4年 3月31日 現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現預金計	45,528,981	買掛金	41,752,324
売掛金	59,562,162	未払金	3,039,103
当座資産計	(105,091,143)	未払消費税	3,252,700
未収入金	898	預り金	7,334,048
その他流動資産計	(898)	未払法人税等	468,200
流動資産計	(105,092,041)	流動負債計	(55,846,375)
器具・備品	28,473	負債の部合計	(55,846,375)
一括償却資産	204,422	純資産の部	
有形固定資産計	(232,895)	資本金	7,500,000
ソフトウェア	468,000	資本準備金	7,500,000
無形固定資産計	(468,000)	資本剰余金計	(7,500,000)
長期貸付金	4,000,000	繰越利益剰余金	38,946,561
投資その他の資産計	(4,000,000)	（うち当期純利益）	(6,870,503)
固定資産計	(4,700,895)	その他利益剰余金計	(38,946,561)
		利益剰余金計	(38,946,561)
		株主資本計	(53,946,561)
		純資産の部計	(53,946,561)
資産の部合計	(109,792,936)	負債・純資産の部計	(109,792,936)

損益計算書

いこま市民パワー株式会社

自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
売 上 高	443,236,144	
仕 入 高	405,819,116	
純 売 上 高		443,236,144
売 上 原 価		405,819,116
売 上 総 利 益		37,417,028
販 売 費 ・ 一 般 管 理 費 計		27,758,421
営 業 利 益		9,658,607
受 取 利 息 ・ 割 引 料	1,379	
雑 収 入	29,091	
営 業 外 収 益		30,470
コ ミ ュ ニ テ ィ 事 業 費	1,066,528	
雑 損 失	73	
営 業 外 費 用		1,066,601
営 業 外 損 益 計		-1,036,131
経 常 利 益		8,622,476
税 引 前 当 期 純 利 益		8,622,476
法 人 税 等	1,751,973	
当 期 純 利 益		6,870,503

販売費及び一般管理費

いこま市民パワー株式会社

自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
役員報酬	1,200,000	
給与・手当	4,527,810	
給与負担金	1,332,800	
賞与	907,224	
法定福利費	906,852	
福利厚生費	198,190	
広告宣伝費	537,427	
支払手数料	149,340	
旅費	80,338	
通会費	405,162	
会議費	11,695	
地代・家賃	1,040,076	
減価償却費	562,682	
修繕費	15,000	
保険料	60,000	
租税公課	588,100	
消耗品費	207,033	
諸会費	31,250	
業務委託費	9,656,800	
システム利用料	5,340,642	
販売費・一般管理費計		27,758,421

株主資本等変動計算書

いこま市民パワー株式会社
自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

	株主資本								自己株式	株主資本計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金計		
		資本準備金	資本剰余金計		その他利益剰余金					
				別途積立金	繰越利益剰余金	その他利益剰余金計				
当期首残高										
当期変動額	7,500,000	7,500,000	7,500,000			32,076,058	32,076,058	32,076,058	-5,100,000	41,976,058
TJグループホールディングス 自己株式より180株を引き渡し									1,800,000	1,800,000
市民エネルギー生駒 自己株式より60株を引き渡し									600,000	600,000
生駒商工会議所 自己株式より270株を引き渡し									2,700,000	2,700,000
当期純利益						6,870,503	6,870,503	6,870,503		6,870,503
当期変動額合計						6,870,503	6,870,503	6,870,503	5,100,000	11,970,503
当期末残高	7,500,000	7,500,000	7,500,000			38,946,561	38,946,561	38,946,561		53,946,561

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産の部計
	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等計		
当期首残高				41,976,058
当期変動額				
TJグループホールディングス 自己株式より180株を引き渡し				1,800,000
市民エネルギー生駒 自己株式より60株を引き渡し				600,000
生駒商工会議所 自己株式より270株を引き渡し				2,700,000
当期純利益				6,870,503
当期変動額合計				11,970,503
当期末残高				53,946,561

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 重要な会計方針

① 固定資産の評価方法

有形固定資産 建物、建物付属設備、構築物・・・定額法

それ以外・・・定率法

無形固定資産・・・定額法

② 収益及び費用の計上基準

収益及び費用ともに発生主義により計上しております。

③ その他の計算書類作成のため基本となる重要な事項

消費税の会計処理は、税抜きによっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 220,243 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済み株式の種類及び総数

普通株式 1,500 株

4.1 株当たりの情報に関する注記

1 株当たりの純資産 35,964.37 円

1 株当たりの純利益 4,580.33 円